

職員の取り組み：迅速・円滑な引き継ぎの実施

1. 事前に必要な情報をまとめて整理しておく。

地域を所管する消防の情報提供シート(別紙)を作成しておく。情報シートは、入所の際に作成し、定期的に確認のうえ情報を更新しておく。

2. 応急救護訓練などに併せ、緊急時の一連の活動訓練の中に、救急隊への入所者情報などの引き継ぎ訓練を実施する。

3. 円滑な救急隊への引き継ぎのための職員間における入所者台帳（入所者情報）の保管場所を周知しておく。

医療機関との連携：医療機関の迅速な受け入れのために

4. 普段から協力病院等（急性期医療機関を含む）との、いわゆる「顔の見える関係」を構築しておく。

例えば、入所者が医療を必要とした際の連携協力について協議しておき、必要な時に医師から指示を受けたり、必要により受け入れてもらったりする関係を確保しておく。

家族との連携：いざというときのための家族との話し合い

5. 緊急時の医療処置等（延命処置、看取りを含む）について、事前に家族との話し合いを行い、対応についての理解を深めておく。

6. 緊急時における家族等への連絡体制を確保しておく。

例えば、連絡先が一人で、連絡しても繋がらないときのためにも、二人以上の連絡先を事前に決めておく。